

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

No.33

2022.8
夏号
SUMMER

今号のテーマ **新年度を迎えて**



Contents

01 巻頭のことば

03 新入生を迎えて

05 新入生から

10 学生たちから

12 特集

13 人事異動

15 新年度を迎えて

17 諸だより

18 News&Topics

新年度を迎えて

校長 高松 洋



本年 4 月 1 日付けで熊本高専の校長に着任いたしました高松と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度は 3 年ぶりに熊本県立劇場にて入学式を執り行うことができました。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、参加いただける保護者の方はおひとりずつという制限を設けさせていただいたことは申し訳なく思っておりますが、これから新しい生活の第一歩を踏み出そうとして

いる学生の皆さんを一堂に迎えることができたことについては大変嬉しく思うとともに、胸をなでおろしています。

さて、私は 3 月まで九州大学に 37 年間勤めておりました。機械工学が専門で、熱工学や生体工学といった分野の研究と教育を行ってまいりました。学生時代から九州大学一筋ではありますが、研究所、大学院総合理工学研究科、大学院工学府、工学部などいろいろな組織に所属し、研究室が学生、助手、助教授、教授ですべて異なるという経験を有しております。さらに工学研究院長、大学院工学府長、工学部長や副学長を務め、大学の運営に携わった経験もありますので、これらすべての経験を熊本高専の学生や教職員の皆さんのために活かしていきたいと考えております。

昨年末に T S M C が熊本に

進出することが明らかになって以来、熊本県は大変注目されていきます。そして、半導体分野での日本の盛り返しが国家プロジェクトとして動き出し、それを支える人材、すなわち半導体人材育成が教育機関に期待されています。高専の中では我が熊本高専がその旗頭になるよう求められ、すでに佐世保高専と協力して新しい講義などの取り組みがスタートしています。回路設計や半導体製造そのものに従事する専門家の育成の強化に加えて、半導体事業は裾野が広いため、電気電子系以外の様々な分野でも半導体に関する基礎や応用技術などの教育を導入する予定です。ただし、これらの取り組みは、教育内容を半導体に傾注するものではありません。学生の皆さんが、まずは自分のそれぞれの専門の基礎を確立し、将来、どの

分野においても活躍できることを目標の中心に据えていることに変わりがないことをご理解いただければと思います。日本の発展が「ものづくり」に支えられてきたことは言うまでもありません。そしてそれは今後と同じですが、今、「ものづくり」より「ことづくり」が重要だと言われています。そのころは、「もの」が「こと」のためにあることを肝に銘じることだと思えます。学生の皆さんには、何事も「何のために」、「誰のために」を第一に考えて自分の行動を考える人になってもらいたいと思っています。そのためには、専門のこと以外にも様々なことを経験し、学んで視野を広げることが大切だと考えています。皆様も、そういう目で若い学生を見守り、指導していただければ幸いです。

新入生を迎えて

熊本キャンパス奨学後援会

會長 山下知之



新たなスタートをきられた
新入生、編入生、留学生、専
攻科生の皆様、おめでとうございます！

今年度も新型コロナウィルス感染の影響を受け、まだまだ活動が制限され不安な中ではあるかと思いますが、新人生にとっては、これから短くても5年間をともしにする仲間を大事にして欲しいと思います。皆さんの仲間は、切磋琢磨しあえる良きライバルである事を認識し、授業では意見を出し合いながらも互いを尊重し、限りある時間そして今を大切に楽しくもメリハリある行動を意識して

欲しいと思います。

また、学業で「基礎・基本」を謙虚に学びながら、勉強だけでなく部活や趣味でも良いので興味あるものに目標を持ち「やり抜く・やり続ける力」も身につけて欲しいと思います。例えば、高専は部活にいくつも入れると聞いているかもしれないませんが、中途半端にどれもしないのではあれば本当の楽しさを知るのは難しいと思います。本当の楽しさは、困難な事を乗り越えた先にある新しい発見や気づきを得られた時の達成感だと思います。勉強でも理解出来るようになると楽しくなると思います。理解できないからつまらないでやめてしまいう事は簡単ですが、自分で考え、時には仲間と協力しながらやり抜く努力をして欲しいと思います。

奨学後援会は、そんな学生を応援すべく、先生や地域の方々と連携しサポートしていきますので、輝ける未来の為にチャレンジしやり抜きましょう。

います。

奨学後援会は、そんな学生

と応援すべく、先生や地域の

方々と連携しサポートしてい

としますので、輝ける未来の為

にチャレンジしやり抜きましたよ

新入生を迎えて

八代キャンプス後援会

会長 増田 裕



熊本高専にご入学の皆さん、この度は誠におめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお喜び申し上げます。

新入生の皆さんは、様々な行動制限がかかる中で、期待と不安を抱き、そして高い志を持って4月からの熊本高専ライフをスタートされたことと思います。しかし、この便りを見られる頃には、幾分か生活環境も落ち着き、有意義な学生生活を楽しまれていることでしょう。

これからの学生生活をより
向上させるため、私から単純

ですが難しく面倒なお願いごとが一つがあります。それは、各学科それぞれのベクトルは違つても、分け隔てなく、同級生や先生、先輩方と沢山「会話」をすることです。それが、「成長」に繋がります。社会人の先輩として間違つていないと言い切れます。何気ない会話でも構いません。その積み重ねが今後のコミュニケーション能力の向上に影響します。

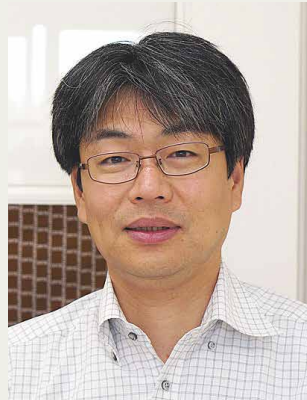
また、高専は部活動も活発です。是非部活動にも参加していただき心身の成長もお願いしたいところです。学生生活は、少なくとも5年間ありますので、自ら物事に関心を持ち、好奇心を抱き、信頼できる友人を発見し、充実した学生生活を送っていただきたいと思っています。そのために後援会として出来る限りの応援をさせていただきます。

これから学校と学生の向
上の役になるよう努めてま
いりますので、今後とも後援
会活動へのご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。

よく学び、よく遊べ

教務主事(熊本キャンパス)

小田川 裕之



皆さんは今、5年間のスタートに立ったわけですが、修了時には、熊本高専に来てよかったと心から思ってもらいたいです。そこで皆さんへアドバイスをします。ただし、教員が言っても奇麗ごとのようなので、ここでは、「もし自分の子供が高専に入ったらどうアドバイスするか」を考えてみました。①レポートは文章を書く練習だと思って少しでも良くする努力をしる。時間がなくなったらそこで練習終わり。まとめて出せ。②本気で勉強しろ。点数はそこそこで良い。点を取る努力より

も、あつ、そうかと納得することに時間をかける。身についたことで将来戦うこととなる。行き詰ったら、ひとまず放置して先に進め。後で振り返ってわかることもある。③クラスで助け合え。クラスメイトは生涯の友になる。クラス内の順位よりも、クラス全体のレベルを上げる。そうしたら授業のレベルが上がる。④授業以外の事に取り組み。受験がないといっても、テスト勉強だけなら同じじゃないか。アルバイトは最小限にしろ。それは誰でもできる。高専生しかできない事をしろ。⑤対外試合をせよ。コンテスト、学会発表、国際交流e t c。上には上がいると痛感するが、自分でもできそうだと思うこともある。対外試合で強くなる。⑥留学生と友達になれ。世界中に友達ができるチャンスだ。それには受け身ではない。い。

「よく学び、よく遊べ。視線を外へ向ける。楽しい事を探して、みんなでやれ。それに教員を巻き込め。」

新入生の皆さんへ

学生主事(八代キャンパス)

村山 浩一



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響が懸念されましたが、入学式も対面で挙行され、新たに本科生258名、編入学生6名、留学生3名、専攻科生60名の皆さんを本校に迎え入れることができ、大変嬉しく思うと共に、心より歓迎申し上げます。

入学してから数ヶ月が経ちましたが、高専生活にはもう慣れましたでしょうか。授業、部活動、寮生活などにおいて、これまでとは大きく違う環境やルール、雰囲気戸惑っている方も少なくないかも知れません。本科新入生からは、中学校時代から比べるとほぼ

倍の90分という授業時間が特に大変と聞いておりますが、そうした高専独自のスタイルにも徐々に慣れて、充実した高専生活を送れるようになると思います。

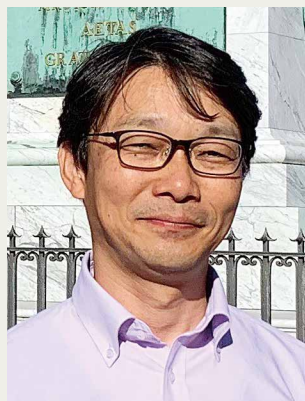
その際、皆さんの周りに、信頼できる仲間がたくさん居ると、より楽しい高専生活になることは間違いありません。高専生活の中で、授業や試験、レポート、部活動などで苦楽を共に過ごした友人は、皆さんにとって、かけがえのない一生の財産になります。高専は個性的な学生さんが揃っていて、一見、取っ付きにくい雰囲気の人々も居るかも知れませんが、ぜひ学科を問わず、色々な人と積極的に交流を持つようにして、信頼できる友人を数多く作ってください。勿論、教職員一同も、皆さんが楽しい高専生活が送れるように、可能な限りサポートをしていきます。

卒業する際には、「本校に入学して良かった」と思えるような高専生活を送ってくれることを祈っております。これからの高専生活を思う存分に楽しんでください!!

寮生活で能力アップ

寮務主事(熊本キャンパス)

島川 学



熊本キャンパスには約160名の寮生がいて、八代キャンパスには約300名の寮生がいます。学寮規則や心得を遵守して、楽しく寮生活を送っています。そして、寮生活を充実させ、円滑に行うために、それぞれのキャンパスに寮生会が組織されており、寮生会会則に則って運営されています。熊本キャンパス明和寮の寮生会会則では、その目的を次のように定めています。

第2条 本会は、規律ある共同生活を自主的に運営し、その活動を円滑に行うことを目的とする。

それぞれのキャンパスで寮生会会則に違いがあるかも知れませんが、寮生会の目的は共通であり、寮長をリーダーとする役員会が運営を行なっています。

毎年4月に新入生が入寮して、すぐに寮生活に慣れることができるように生活指導をするのも寮生会役員の生活指導担当です。毎月実施している寮生会イベントはイベント担当が企画して、準備から後片付けまでを自分達で行います。寮生会費の収支管理は会計担当が行なっています。寮生全員が円滑に寮生活を送れるように生活ルールを決めたり、改善したりするのも寮生会役員会の貢献によるものです。

寮生全員が規律ある共同生活を送るためには、役員会のリーダーシップやマネージメントは不可欠ですが、それだけでは不十分です。やはり、寮生一人ひとりが意識を高く持ち、弁えた行動をすることが求められます。そのためには、コミュニケーションやチームワークも必要となるでしょう。寮生の皆さんには寮生活を通じてこれらの能力が成長することを期待します。

「いま、ココ」

研究主事(八代キャンパス)

井山 裕文



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。もう学校生活に慣れましたか？在校生の皆さんは、これまでと同様に楽しい学校生活がおくれていますか？この高専だよりが発行される頃は大変暑い時期となっているかと思いますが、毎日健康管理に気を付け、自身の身体を大事にしてください。楽しい夏季休暇となることを願っています。

さて、熊本高専には高専卒業の先生方が多くおられます。私もその一人であり、およそ30年前高専での学校生活をおくった経験があります。卒業しておよそ30年も

経ちますので、その間で目覚ましい技術の進歩もありますが、ほとんど変化のないものもあります。特にインターネットによるグローバル化の発展、スマートフォンの急速な普及や人工知能など、新しい創造力の手助けとなり、コミュニケーションツールとなって人類にとっても画期的進歩と言えるのではないかと思います。これら技術の発展ばかりでなく、地震や大雨、河川の氾濫などの自然災害や新型ウイルスによる世界規模パンデミックや戦争では多くの人が亡くなり、歴史に刻まれるような事象が身近なところでも起こっております。これらの影響も含めての世界経済の変動も大きくなっています。我々はこのような現実社会で生きています。その中で社会に役立つ技術や教育を私たち教員は担っており、日々研究を行っております。その研究には学生達も巻き込んで教育活動にも活かさねばなりませんし、その内容を広く世間に公表しなければなりません。それが私たち教員の役目だと思います。↑いま、ココ。

先人の知恵に学ぶ 高専の生き方

機械知能システム工学科
1年 板坂 陽斗



合格から入学までの春休み期間、学校生活に対する不安が山盛りでした。お馴染みの高専出身のYouTuberの動画を見てしまったからです。あれを見ると入学前だと本当に不安にかなりなりました。やめとけ、とか、後悔するぞ、とか色々なこと言うんですね。しかし、そんな不安、入学したら一気にぶっ飛びました。

たしかに高専生は自由なのでみんな個



性の塊でした。そして癖が強いです。しかし、先輩たちは優しくて最高にロックでした。先輩に限らずみんな面白いです。先輩はまだ何もわからない僕に色々なことを教えてくれました。テストの傾向から対処法、購買の回る時間、美味しいパンは何かと、ありとあらゆることを教えてくれました。先輩とはもつと怖いものだと思っていました。今や先輩万歳です。

僕はここで5年間勉強してエンジニアになりたいです。夢をかなえ、楽しい人生を歩むためにも、まずは留年しないように頑張ろう。

楽園パラダイス

制御情報システム工学科
1年1組 板東 和寿



熊本高専に入学してから数か月が経った。これまでを振り返って、一つ、確信したことがある。ここは楽園だ。

中学校とは全く異なる授業、困惑する程の自由な時間。そして教室から溢れんばかりにひしめく濃いキャラ達。この学校に退屈の二文字は存在しない。全てが刺激的で毎日のように己が更新されている気分だ。

改めて、熊本高専にきて良かったと心



の底から思う。

先輩方はこれから大変になると言うが知ったことではない。そんなことは重々承知だ。そしてその承知を遥かに超えてくる課題の山々も重々承知している。

それも含めて、楽しみで仕方がないのだ。これから待ち受ける全てへの渴望を抑えることができないのである。

しかし、先に述べたように、この場所には自由という名の甘い蜜があることを忘れてはならない。

甘い蜜は飲んでも飲まれるな。

この言葉を頭の片隅に僅かに残して、これからも食欲に生きていこうと思う。

「熊本高専に入学して、これから」

建築社会デザイン工学科

1年 小山 和真



僕は、建築家になるために中2の夏休みからこの学校に入学するために勉強してきました。推薦の結果に自分の番号があったときは、とても喜びました。

入学してから、約1か月が過ぎました。最初の頃は、友達ができるかなどの不安がありました。今は、みんなと充実した日々を送っています。

5月17日には球技大会があり、バレー部門で優勝できました。球技大会が終わり、もう少しで前期中間評価試験が

始まります。最初の試験で、少し難しそうな気がして不安ですが、得意な数学や化学で100点を目指して頑張り、専門的知識の建築構法や、建築社会デザイン概論、基礎製図もきっちり勉強し、赤点が出ないようにしていきたいです。

また、これから高専大会や高専祭などの行事があります。それらを一つ一つ楽しみながらも、勉学に努めて、建築家になれるよう頑張っていきたいです。



熊本高専に入学して

人間情報システム工学科

1年2組 平野 太陽



高専に入学して不安と期待で胸がドキドキする中、直ぐに対面式「自己紹介」がありました。配信という形ではありましたが、先輩方からのコメントも流れ、初めての経験でとても緊張しました。炭酸ガスを用いた設営や、インカムを付けながら行動される先輩方の姿に憧れを抱き、緊張よりも感動に希望に満ちたスタートとなりました。

私は、入学後間もなくプログラミング講座を受講しました。週に二回の講座で、難し

い所もあり苦戦しましたが、最終受講時には、自分で初めてプログラミングを書くことが出来たので最後まで諦めずに挑戦して良かったです。今は、オンライン英会話を受講しています。これも続けていきたいです。

私は寮生活ですが、学校でも部活でも寮でも、楽しい友人や親切な先輩方に恵まれ、とても楽しく充実した毎日をお過ごせて感謝しています。入学式で校長先生が話されていた「人の気持ちがかかる技術者」になれるように、精一杯頑張ります。



熊本高専に入学して

生物化学システム工学科

1年 瀧本 沙羅



高専に入学して少し経ちました。中学校と何かもが違う毎日に今も不安でいっぱいですが。しかし、高専に入学してよかったなと思うことが多くあります。

まず、級友が個性豊かでユニークであることです。それにより、今まで知らなかった価値観に出会い、自分の視野の狭さに気づくと同時に多種多様なものの考え方を通して知見を広げられてよかったです。次に、相談できる人が多いことです。独創的な人が多い

く、人間関係などが難しかったのですが、様々な人が悩みの大小に関係なく寄り添って話を聞いてくれました。おかげで助かったことが数多くあります。最後に、学習が充実していることです。難題には級友と協力しながら取り組むので有意義な学習となり、学習意欲向上にも繋がりました。

まだ高専生活は長いのでこれから高専の特長を最大限に生かし、様々な体験を通して自分の見聞を広げるよう努めたいです。



熊本高専に入学して

人間情報システム工学科

1年3組 中田 結心



高校受験を終え、熊本高専に入学して約二か月が経ちました。私は今でも、中学校とは全く違う高専スタイルに翻弄される日々を送っています。一番大変だと感じているのはやはり勉強です。授業時間が90分になり一コマで習う事が増え、専門教科が追加され内容が格段に難しくなりました。それ故、復習は大切だなと思います。今日習ったことは今日のうちにアウトプットすることを繰り返して、基礎の理解と日々の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

また、私には入学後の出来

事で印象に残っている言葉があります。それは「暗記型から理解型へ」という言葉です。私の今までの勉強を振り返ってみると、ただ覚えるだけの暗記型の勉強が多かったなと思います。ですが、これからはただ暗記するのではなく、「どうしてこれがそうなるのか」という「どうして」を忘れずに勉強していきたいです。これからも仲間と協力しながら高専生活を楽しみたいと思います。



専攻科に入学して

生産システム工学専攻

1年 藤田 康嗣



この春、生物化学システム工学科を卒業し専攻科に入学しました。5年前の今頃、私は白衣とマイクロペットに憧れて高専に入学しました。あまりにも安直な志望動機に周囲の大人は驚愕しました。1年生を何とか乗り切り、2年生の実習で夢にまで見た白衣に初めて袖を通しました。実習を終えると研究者になったような気持ちになり、達成感で満たされたことを今でも鮮明に覚えています。3年生の実習では、念願のマイクロペットに触れた際、その機械的な格好良さに私の心は躍

動し、本来の精密な実験操作は二の次になってしまうほどでした。それも今となっては良い思い出です。本科を終えた今、私は様々な経験に素直に感動すること、感動できる感覚をもつことが、研究や学問にとって本当に大切なことだと感じています。

高専での生活をより充実させるため、現在の研究を続けながら他分野も学ぶことができる専攻科への入学を決意しました。他学科の学生との混合クラスになり、他分野の先生方や学生から学ぶこと、教えてもらえることが沢山あり、日々刺激を受けています。私自身も先日の実習でマイクロペットの使い方を他学科の学生に教える機会がありました。他分野の学生と知識や思い出を共有できることが、専攻科の魅力であると今まさに実感しています。これから研究や勉強など取り組みたいことは山積みです。まずは日々の生活を過ごしながら専攻科の生活を楽しみたいと思います。

専攻科に入学して

電子情報システム工学専攻

1年 小松野 海斗



この春、私は制御情報システム工学科を卒業し、専攻科に進学をしました。

専攻科は本科より更に自主性を求められ、学生自身で地域の企業の方と連絡を取り合い企業の抱える問題を解決するプロジェクト実習や、グループでの活動が多くなり、将来技術者になり様々な人と開発を行うことを意識した授業が多く行われています。その活動を通して知識だけでなく、集団においての役割や作業の仕方を学ぶことが出来ます。また、専攻科では本科に比べ、自由に活動する時間が

多く持てます。私はその時間を利用して、企業の通年のインターンシップに参加しています。インターンシップでは、熊本・八代両キャンパスの専攻科生と本科5年生が、企業から提供されるテーマに沿って製品の開発や評価を行っています。学生との交流だけでなく実際に社会に出て働いている技術者の方々との交流は学びが多く、自身の将来を考える上でとてもいい財産になると考えています。

私の専攻科での目標は自分の将来の可能性を広げることです。そのために、国際交流、インターンシップ、研究などを頑張っていきたいと考えています。

現在も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で、新たな生活様式が求められています。やりたい事が様々な制約を受けて出来なくなる事が多くなると思います。その中でも、自分ができることを考えて、充実した2年間を過ごしていきたいと思います。

熊本高専に入学して

建築社会デザイン工学科

3年 チャイソンキム



去年の夏にカンボジアから日本に来ました。その時、日本のことが全然分からなかった留学生の私は東京にある日本語学校

に入り、日本語を初めて勉強しました。

熊本高専に入学して、約2ヶ月が経ちました。私にとってカンボジアの高校生活は一番楽しい時期でした。今の高専での生活は楽しく、また高校生活を過ごすようです。

確かに、日本語だけでなく授業で様々なチャレンジがありますが、困るたびに先生方やクラスメイトにいつも助けていただき、新しいことや文化が学べています。

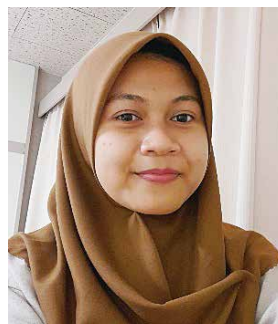
そのおかげで、生活が楽になりました。まだ知らないことがたくさんあるはずですが、時間が経つにつれて、慣れていくと思います。

これから新しい意識とともに高専の生活を楽しんでいきたいです。

熊本高専に入学して

人間情報システム工学科

3年 ロシリア ザフロトウニサ



熊本高専では、先生方と友達がとてもやさしく、毎日を楽しく過ごすことができ、私はここに留学でき

て大変感謝しています。授業が難しく感じることもあります。困ったことがあったら、先生方が助けてくださいます。バレーボールや花火などといった寮のイベントもあるから、面白い経験になり、寮生とも仲良くなりやすいです。

また、他の高専にいる友達から、近い駅やバス停は15分20分歩く必要があると聞きました。ここは駅もバス停もまさに学校の前にあり、町に行きたい時も簡単にに行けます。

私は周りの環境にも人にもめぐまれていると感謝しています。

熊本高専に編入学して

建築社会デザイン工学科

4年 日高七菜子



私は今年の4月、福岡の工業高校から熊本高専に編入学しました。最初は分からないことが多かったが、

今では新型コロナウイルスによる環境の変化にも慣れ、遠隔授業も臨機応変に対応できるようになりました。

私が高専に編入した理由は、高校で学んだ勉強の続きを学ぶことができるからです。また高校では建築を中心に勉強していましたが、土木にも興味があったので、建築と土木工学が学べる熊本高専に編入しました。学習面では高校で習ってない範囲が多く、パソコンを使つての勉強やレポート作成も初めてだったので戸惑うことも多々ありましたが、友達に助けってもらいながら納得のいくものを完成させることができました。

まだ将来のことは明確には決まっていますが、まずは目の前のことに全力で取り組んで頑張っていきたいです。

新入生を迎えて

熊本キャンパス学生会会長

5年 藤野 叶大

新入生が入学して早2ヶ月が経ち、学内では、くぬぎ会館前のベンチでお昼ご飯を食べる1年生や、部活に向かう1年生を見ることが多くなりました。

今年度最初に行った学生会行事は対面式でした。1年生は緊張しながらもしっかり自己紹介ができていたなど対面式を通して感じました。

5月初めにはクラスマッチが行われる予定でしたがコロナ禍のため延期になりました。クラスマッチはクラス一丸となり深い関係を築くことのできる行事です。なんとかクラスマッチを実施してより仲良くなってもらいたいと考えています。

5月中旬には梅ちぎりを実施しました。外務連携委員を

中心に企画し、校内の梅の実を近所の方々にちぎってもらうイベントです。最初は人が来るか心配でしたが始まってみると沢山の方が来られ、楽しみにしていたと言ってくさりとでも嬉しく思いました。学生会ではこのような沢山のイベントをこれからも企画していきますので楽しみにしてください。



学生会より

八代キャンパス学生会会長

4年 坂口 慧飛



瞬く間に時が過ぎ、新1年生も高専での新たな生活に慣れ、学校生活を満喫していることだと思えます。今年度、学生会会長を務めさせていただいております、生物化学システム工学科4年の坂口慧飛です。

初めに、5月17日に球技大会を開催することができとても嬉しく思います。5月の球技大会開催は、新型コロナウイルスの影響で3年振りの開催でした。学生会役員をはじめ、学生みなさんが感染対

策に協力していただいたことで実現することが出来ました。これからも感染対策を徹底していき、10月に開催予定の高専祭ではクラブバザーや外部の受け入れをできればと思っています。

最後になりますが、今年度は学生会役員として、そして学生会長として学校の為に尽力するつもりです。なにか困ったことがあれば、是非私や学生会役員に気軽に相談してください。1年間よろしくお願ひします。



寮生会より

熊本キャンパス明和寮

寮長 金子 尚都



新年度が始まって早くも数カ月が経ち、時間の流れの速さを感じます。新入生の皆さんの顔も少しずつ覚え、様々な行事を通して仲良くなれることに喜びながら過ごしています。

明和寮では、今年も引き続き新型コロナウイルスの感染対策で消毒やマスク着用などの徹底を呼び掛けています。また、感染対策の一環として大人数での交流や卓球台をはじめとする様々な施設の使用を控えるよう呼び掛けることもあります。感染防止の生活が定着しつつある今、そういつ

た制限を強いられなければならない立場として心苦しさも感じています。

さて、熊本キャンパスでは国際寮が新設されて1年が経ちます。共有スペースがあるため、他学年との交流が容易になったという話を耳にします。上下関係のつながりは寮生の強みでもあるので、円滑な共同生活を築いていきたいものです。

今後とも明和寮寮生会は、全ての寮生が明るく楽しく暮らせるよう精一杯努めてまいります。厳しい生活が続きますが、協力してコロナ禍を乗り越えましょう。



寮生会より

八代キャンパス夕葉寮

寮長 池田 真子



皆さんこんにちは。夕葉寮寮長の池田真子です。

新入生の皆さん、ご入学・ご入寮おめでとうございます。新年度が始まって、数カ月がたち、少しずつ学校生活に慣れてきたころだと思っています。

今年は、新年度が始まってすぐに新型コロナウイルスが流行してしまったため、入寮生歓迎行事も行うことができず、制限が増えてしまっていると感じま

す。そのため、他学年との交流の機会が減っており、寮生活の楽しさを味わうことができていないかもしれません。しかし今年は、4年に1度の大寮祭があります。新型コロナウイルスの対策を徹底して、皆さんが楽しんでいただけるような寮祭を行う予定です。お化け屋敷や球技大会、ゲーム大会などを予定しています。皆さんに寮祭を楽しんでいただくために、一人一人が感染症対策を徹底して行ってください。もし、何か不安なこと、分からないことがあれば気軽に寮役員に声をかけてください。規則を守って、寮生全員が住みやすい寮を作っていきます。



「新・閃きイノベーション2022」発表会

地域協働プロジェクトセンター長 永田正伸

「新・閃きイノベーション」は、熊本県工業連合会と熊本高専の人材育成・共同研究に関する協定に基づいて行われる、学生の協働教育プログラムです。平成22年から行ってきた「閃きイノベーション」を発展させた、「教育」＋「地域」＋「研究」の総合的な実践プログラムの一つで、平成29年度から実施しています。従来のプログラムは、企業のもつ技術や特長を生かして新製品の提案を行うアイデアコンテストの形式でしたが、

その成果発表会を、4月

22日に開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響のため、熊本キャンパス、八代キャンパスの各会場と、オンライン参加者をWeb会議システム（Microsoft Teams）で接続したハイブリッド形式で実施しました。今回は、機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科、生産システム工学専攻、情報通信エレクトロニクス工学科、電子情報システム工学専攻の学生ら8グループが発表を行いました。本発表会へは出題企業3社・2団体を始め、熊本県工業連合会会員企業、本校学生、教職員など約90名が参加し、学生が提案するアイデアに対して活発な意見交換が行われました。

発表課題名等一覧

課題名	出題企業・団体
安心・安全・快適で健康寿命を延ばせる持続可能な街づくりに欠かせないIoTを駆使したサービス	メイビスデザイン株式会社
缶の内圧不良検知システム	株式会社プレシード
簡易冷却能力計算ツールの作成	応用電機株式会社
生活環境における光波長調査	
狭小エリア照度計測方法の立案	
立ち読みのための家具	金剛株式会社、くまもと森都心プラザ図書館
映像による加工部品の判別ソフト	金剛株式会社
支援教材の作製	黒石原支援学校



熊本キャンパス発表会場



八代キャンパス発表会場

熊本高専に着任して

事務部長 佐藤 敏明



4月1日付けで事務部長に着任しました。前職は秋田大学の副理事(企画調整担当)として、総務・企画・人事系の事務総括を担当していました。私の出身地は秋田県で、高校卒業後は東京の大学に進学、東京で就職し、これまで文部科学省の関係機関で勤め続けています。東京大学、文化庁、日本芸術文化振興会(国立劇場などを運営)、国立文化財機構(国立博物館などを運営)、宮崎大学、鳥取大学、秋田大学と複数の機関を経験していますが、国立高等専門学校機構は初めての勤務となります。熊本高専には八代キャンパスと熊本キャンパスがあって両キャンパスは約60km離れているのですが、事務部長は両キャンパスを半々(曜日ごと)に勤務する必要がありますので通勤が大変です。

近年、国立大学では業務の拡大や多様化に伴い、教職員の管理運営業務等に関する負担が増大しています。高専においても同様で、教員が教育研究活動に専念できるよう、教員が携わっている管理運営業務の見直し、会議運営・体制や事務作業等の改善・効率化を図ることが喫緊の課題となっています。また、学校運営を担う事務職員についても、自らの意識改革と高度化・専門性の向上により、教育研究機能の活性化に貢献することが期待されています。校長先生、教職員と協力して学校運営を行い(教職協働)、学生、教職員にとって「いここちが良い熊本高専」となるよう事務部長として努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2020年度のタイ高専プロジェクトへの参加について

拠点化プロジェクト系 入江 博樹



2020年4月に機構本部の国際参事としてタイの Kosen-KMITL へ派遣され、2021年5月に熊本高専に戻りタイ高専の後方支援を行っていました。2022年度から熊本Cで仕事をしています。2020年4月の出国予定時に最初のコロナパンデミックが重なりました。実際の出国は10月末でしたが、6月に日

本から遠隔授業を開始しました。授業の資料や講義もすべて英語です。教科書は高専オリジナルをタイへ提供することになっていたので、私の講義で使った資料を英語に翻訳するなどで対応しました。教科書では熊本高専の先生にも支援していただきました。フルのオンラインでの授業も初めてで、出席や毎回の授業理解度チェックなど、派遣教員らで工夫をしながらの毎日でした。海外の授業動画を見て参考にしました。10月末にタイに入国して現地で対面授業ができたので、多少は楽になったのですが、授業以外にも次年度に開講する授業設計や実験の計画など、毎日がとても忙しかったです。タイではロックダウンや学校閉鎖もあったので、あまり観光をする機会がなかったのですが、実験に使う電子パーツを探してタイの電気街をうろつくことができました。カンボジア国境駅まで往復10時間ほどをローカル線で日帰り旅行したり、アユタヤのワット・マハタートで仏像を間近で見られたのは良い思い出です。30年ぶりに元熊本電波高専の梅谷誠先生と会えたのも嬉しかったです。

転入者等一覧

【学外からの異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
高松 洋	校長	九州大学大学院工学研究院教授	R4.4.1
佐藤 敏明	事務部長	秋田大学副理事（企画調整担当）	R4.4.1
大山 俊博	学務課長（八代C）	熊本大学教育研究支援部自然科学系事務課副課長	R4.4.1
上田 恒史	管理課課長補佐（熊本C）	熊本大学研究・産学連携部社会連携課副課長（産学連携チーム担当）	R4.4.1
大塚 貴博	総務課人事労務係長（八代C）	熊本大学財務部契約課主任（本荘・大江契約チーム薬学系担当）	R4.4.1
吉富 寛明	管理課財務係長（八代C）	熊本大学病院事務部経理課主任（役務契約担当）	R4.4.1
松岡 記代	管理課施設管理係長（熊本C）	熊本大学施設部施設企画課係長（施設・環境マネジメント推進室施設マネジメント担当）	R4.4.1
江川 郷	総務課主任（国際交流推進係）（熊本C）	熊本大学教育研究支援部情報企画課主任（セキュリティ担当）	R4.4.1
志柿 恵美	学務課主任（学務係）（八代C）	熊本大学財務部契約課主任（本荘・大江契約チーム医学系担当）	R4.4.1
赤星 正明	管理課主任（施設企画係）（八代C）	熊本大学施設部施設企画課主任（施設・環境マネジメント推進室環境・エネルギーマネジメント担当）	R4.4.1
秋山 光太郎	管理課員（財務係）（八代C）	熊本大学病院事務部経理課員（管理担当）	R4.4.1
三好 真衣	管理課員（管理係）（熊本C）	熊本大学学生支援部学生生活課員（経済支援担当）	R4.4.1
服部 雅生	学務課員（学生係）（八代C）	熊本大学病院事務部経理課員（物品調達担当）	R4.4.1

【キャンパス間異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
野々原 知香	総務課課長補佐（企画運営担当）（熊本C）	総務課総務係長（八代C）	R4.4.1
織田 憂子	総務課総務係長（八代C）	学生課教務係長（熊本C）	R4.4.1
橋本 智子	総務課企画広報係長（八代C）	総務課主任（庶務係）（熊本C）	R4.4.1
福永 恵巳	学生課主任（教務係）（熊本C）	学務課主任（学生係）（八代C）	R4.4.1

【新規採用】（※非常勤職員については、週 20 時間以上勤務の者のみ掲載）

氏 名	所属・職名	異動日
森川 結友	総務課員（人事労務係）（八代C）	R4.4.1
上田橋 克	技術・教育支援センター技術職員（八代C）	R4.4.1
丸野 陽介	技術・教育支援センター技術職員（熊本C）	R4.4.1
赤星 睦	スクールソーシャルワーカー（両C）	R4.4.1
南迫 史子	学生課事務補佐員（学寮係）（熊本C）	R4.5.1

「木から落ちる話」

情報セキュリティセンター

副センター長

藤井 慶



古典落語（演題は失念しました）の中に、与太郎が庭木の剪定作業中に木から落ちてしまふ、という話があります。切断する枝の先の方にまたがり、その枝の付け根の辺りを懸命にノコギリで切った結果、枝と共に自分も落ちてしまった、というもの。察するに、このとき与太郎は枝を切りたい一心で周りが見えておらず、自分で自分の足場を削っていることに落ちるまで気づかなかつたのでしょう。この話は筆者にとって何故

か妙に印象に残り、うっかり墓穴を掘ったとき、この話を思い出して反省します。

さて、本校の多くの学生はエンジニアとしての道を歩みますので、普段からそれに見合った過ごし方を心がけなければいけません。しかしSNSでつい節度ない発信や行き過ぎた発信、他者を誹謗中傷するような発信等をしていないでしょうか。これは人を傷つけるのみならず、自分の未熟さを自ら吹聴しているようなものです。

人生に失敗は付き物です。皆さんは幾つかの失敗を経ながら少しずつ大人になっていくことでしょう。しかし一方で、SNSは全世界に広がる公共の空間です。そこでは、たとえば社会性の十分備わっていない段階の若者による発信だとしても相應の社会的責任があり、リスクが伴います。ましてや高専の学生であれば一層の情報リテラシーや情報モラルが求められます。与太郎のように自分で自分を落下させることのないよう、SNSを利用する際には改めて気を付けて下さい。

いつでも世界へ飛び出せる準備を

グローバルリーダーシップ

育成センターセンター長

大隈 千春



まもなく夏休みです。みなさんはどんな

夏休みを過ごしますか？

近年多くの受験生のみならずから、志望動機の一つとして「熊本高専のグローバル教育に惹かれた」という声を聞きます。本校では、これまで4年次海外研修旅行や台湾英語研修など派遣型プログラム、夏休みや春休みなどに本校の特色である技術を活かしたワークショップなど、海外協定校から来熊する学生達との交流活動を実施してきました。また、本校で実施しているグローバルエンジニア育成事業など、低学年のうちから国際力を高めてもらえるよう、英語の授業内だけでなく、夏休み英語キャンプや海外学生とのオンライン

イン交流会、英語力向上のためのイベントを実施しています。

Withコロナの今、直接相互の学校を訪問して活動することはまだ難しいですが、オンラインでの海外学生との国際交流会や国際イベントなどを引き続き実施しています。今年は協定校のテーマセクポリテクニック主催 World Youth Skills Day, WYSD(APAC)に本校も協力参加しています。どの学年の学生も参加できる企画を用意していますので、ぜひ参加してください。

世界への扉は再び開きかけています。まずは、はじめの一步を踏み出しましょう。チャンスが目の前に来た時にそれを掴める力を、いつでも世界へ飛び出せる準備をしていきましょう！



海外協定校の学生とのオンライン交流会

協働教育の薦め

地域協働プロジェクトセンター

センター長

永田 正伸



新入生の皆さん、皆さんはなぜ熊本高専に入学しましたか？おそらく、将来のエンジニアを目指して、そのための知識を得ることが大きな目的の1つだと思っています。本校では、一般科目に併せて、様々な専門科目や実験・実習科目の授業を通して、エンジニアに必要な基礎的な知識を学ぶことができます。地域協働プロジェクトセンターでは、それらの授業の中で、地域企業との協働教育の機会を提供しています。企業との協働教育とは、企業から、業務の中で実際に解決したい具体的なテー

マを提供して頂き、これを実験や卒業研究科目などの授業の1環として学生が取り組み、問題の発見やその解決を図るもので、それらの体験を通して、より実践的な技術を身に付けることができる教育方法として、近年、特に注目されています。このような協働教育は、企業と本校教員が実施する共同研究や連携研究などで実施されます。センターでは、その1つとして、熊本県工業連合会との共催で、毎年「新・閃きイノベーション」(本号特集ページ参照)を実施しています。これは、地域の企業から実際に問題になっている現実の課題を提出して頂き、課題と解決法を考えるだけでなく、実際にプロトタイプを作製やシミュレーションを行い、その結果を報告するという「社会実装型」の協働教育プログラムです。翌年4月に発表会を行い、課題出題企業から結果の講評を頂くことにより、自分たちのアイデアが評価され、より実践的な授業となつていきます。機会がありましたら、この協働教育プログラムに是非参加してください。

技術・教育支援センターより

技術・教育支援センター

センター長

葉山 清輝



技術・教育支援センターは両キャンパスに設置されています。熊本キャンパスにはIT系、電子系、制御系の弱電分野に特化した技術職員、八代キャンパスには機械加工系、生物化学系、IT系、土木測量系等の技術職員により研究・教育のサポートを行っています。主な活動として各科のカリキュラムにおける実験・実習の支援、卒業研究などで使用する装置の製作支援から校内ネットワーク環境に関する支援を行っています。そのほかにも「わくわく実験講

座(わいわい工作わくわく実験)」や「高専ハカセ塾」など、科学技術教育に関連した地域社会貢献活動を行なっています。

最近はいズコロナ時代と言われるように新型コロナウイルス感染や濃厚接触が誰にでも起こり得て、遠隔授業や対面と遠隔のハイブリッド授業が当たり前になっています。常勤・非常勤講師の先生方の遠隔授業のICT機器取扱いのサポートも当センターの重要な仕事となっています。

昨年度は第5ブロック技術職員研究会の担当校として、特に遠隔での体験的授業や実験実習の取組みの例を九州沖縄地区の技術職員で共有する研修会を開催しました。

今年度は熊本キャンパスが高専ロボコン九州沖縄地区大会の担当校となっており、地元開催として熊本・八代とも活躍が期待されています。当センターとしてもロボット製作の技術的サポートのみならず、円滑な大会運営をサポートして皆さんの力になりたいと思っています。

諸だより

保健室より 『5月病』について

熊本キャンパス 看護師 中西 博子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。清々しい表情で4月は新しい環境に慣れるために一生懸命で、5月は緊張や疲れがたまってピークになります。ゴールデンウィークが終わるころに、何となく体調が悪い、やる気が起きない、体がだるい、頭痛、腹痛、食欲不振、集中力の低下などの症状が出てきやすい時期です。

これらは、『5月病』と言われています。誰でもかかる可能性があります。受験の目標を達成したことで、燃え尽き症候群（バーンアウト）のような状態に陥っている人は注意が必要です。

【ストレス解消法】会話でストレス解消。バランスのとれた食事。質の良い睡眠。趣味でストレス解消。心地よい運動。これらでも、症状が改善しない場合は、ご相談ください。多職種の専門家に相談することが出来ます。保健室で面談予約が出来ますので、ご利用ください。皆さんの心身の健康を支援します。



学生支援室より

八代キャンパス 学生支援室長 四宮 一郎

新たな高専生活がスタートして4ヶ月程が過ぎましたが、新しい生活を快適に過ごしていますか。中には課題やインターネットゲーム等で夜型の生活になり、睡眠不足になっている人はいませんか。

私たちが心身ともに健康に生きていくうえで睡眠は欠かせないものだということは、皆さんも知っていることだと思います。ただ、現代の日本人の平均睡眠時間は50年前に比べると約1時間減少しているそうです。日本人は慢性的な睡眠不足に陥っているのかもしれないですね。睡眠不足は私たちの生活に様々な弊害をもたらします。睡眠不足が続くと、仕事の効率低下だけではなく、注意力や記憶力さらには活力も低下してしまい、それが大きなストレスとなります。また、睡眠不足は生活習慣病の発症リスクを高めるとも言われています。そのようなことに陥らないように睡眠時間をしっかりと確保しましょう。睡眠時間を確保できたら、質の高い睡眠を目指しましょう。質の高い睡眠を得るためには、規則正しい生活を心がけることが大切です。以下の「快眠を誘う生活習慣のポイント」を参考にして質の高い睡眠が得られるよう頑張ってみましょう。

「快眠を誘う生活習慣のポイント」

- ◆1日3食の食事を規則正しくとる。
- ◆寝る時間と起きる時間を毎日一定にする。
- ◆朝、目覚めたらカーテンを開けて自然光を浴びる。
- ◆就寝3時間くらい前に適度な運動を習慣にする。
- ◆入浴は就寝2～3時間前に。
- ◆就寝前はPC、タブレット端末、スマートフォンなどの画面を見ない。

「おもしろサイエンスわくわく 実験講座 2022」を開催しました。

5月21日(土)に、「おもしろサイエンスわくわく実験講座2022」を開催しました。今回は3年ぶりに対面形式での開催となり、感染症防止対策のため会場を分散し、完全予約制で実施しました。本校の100名近い学生ボランティアと教職員に加え、九州地区の2高専(鹿児島高専・都城高専)や外部の協力団体(八代市小学校理科部会・さかもと八竜天文台・宮嶋利治財団・長岡技術科学大学Kawaii理科プロジェクト)にもご協力いただき、27のブースを出展しました。(各8回実施:午前4回・午後4回)

当日は102組167名のお子さまの参加があり、大盛況となりました。



高専ハカセ塾を実施しました。

令和4年6月18日(土)、熊本キャンパス会場では、「知識を広げる・究める『ハカセ』とは?」を実施しました。

はじめに「ハカセ」に必要な能力やスキルを考えるワークを行い、それをもとに今後の高専ハカセ塾における目標設定を行いました。グループで、意見をお互いに交わしながら議論をすることで、今後ともに高め合う仲間とのコミュニケーションを図ることもできました。

八代キャンパス会場では、「卵落としの実験と自由研究のテーマ探し」を実施しました。

昨年度とはルールを変更し、A4コピー用紙3枚、ホッチキス、スティックのりのみでオリジナルのエッグプロテクターを作成し、卵を入れて2階から落とすことにしました。失敗から解決方法を考えることで、今後の研究にとっても貴重な経験になったようです。



豪雨で被災した球磨川第一桥梁の部材の活用を考えるワークショップを開催しました。

令和4年6月18日(土)、八代市坂本町の坂本コミュニティセンターにおいて、「Re:球磨川第一桥梁 ワークショップ ～球磨川第一桥梁の被災部材のモニュメント化を考える～」を開催しました。

球磨川第一桥梁は、令和2年7月豪雨で被災し、多くが破損し落橋しました。その破損した部材の一部について、災害遺構などとして展示することを目的に、坂本町住民自治協議会がJR九州より譲り受けています。

本校では、その展示や保存の方法などについて市民団体から相談を受けていました。そこで専攻科生産システム工学専攻の授業「環境施設設計演習」において、この部材の活用方法や、モニュメント化のデザイン・方法といった課題に取り組んでいます。今回のワークショップはこの授業の一環として、受講生が企画・開催しました。



熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式 Web サイト <https://kumamoto-nct.ac.jp/> をご覧ください。

行事予定 Event Calendar 2022

9月▶3月

熊本キャンパス

9月

(未定) 4年生研修旅行
28日(水) 後期授業開始

10月

1日(土) 開校記念日
15日(土)～16日(日) 全国高専プロコン(群馬)
20日(木) 授業参観、クラス別保護者懇談会、寮生保護者懇談会
22日(土)～23日(日) 電波祭
30日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(熊本)

11月

12日(土)～13日(日)・15日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)(八代)
24日(木)～30日(水) 後期中間試験
27日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

12月

10日(土)～11日(日) 全国高専デザコン(有明)
19日(月) キャリアセミナー
26日(月)～1月6日(金) 冬季休業

1月

17日(火) 特別研究発表会(専攻科)
21日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)
27日(金)～2月2日(木) 後期定期試験
28日(土)～29日(日) 全国高専英語プレコン(釧路)

2月

12日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)
24日(金) 卒業研究発表会
28日(火)～3月1日(木) 冬季クラスマッチ

3月

3日(金)～31日(金) 学年末休業
23日(木) 卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

(未定) 4年生研修旅行
26日(月) 後期授業開始

10月

1日(土) 開校記念日
15日(土)～16日(日) 全国高専プロコン(群馬)
28日(金)～31日(月) 高専祭
30日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(熊本)

11月

12日(土)～13日(日)・15日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)(八代)
21日(月)～28日(月) 後期中間試験
27日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

12月

10日(土)～11日(日) 全国高専デザコン(有明)
10日(土) キャリア研修会
26日(月)～1月5日(木) 冬季休業

1月

21日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)
26日(木) 特別研究発表会(専攻科)
28日(土)～29日(日) 全国高専英語プレコン(釧路)

2月

2日(木)～8日(水) 後期定期試験
12日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)
24日(金)～27日(月) 卒業研究発表会

3月

3日(金)～31日(金) 学年末休業
23日(木) 卒業式・修了式

※行事予定については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧(本校公式 Web に掲載)をご確認下さい。

熊本高専だより 2022.SUMMER No.33

【発行】広報戦略室 令和4年8月

編集後記

TSMCや勢いのある企業が熊本県内にも来て、高専を取り巻く環境や取り組みも更に多様性に富み、今後の高専だよりも賑わせてくれそうです。この度、記事をご投稿いただいた皆様、編集に携わってくださった職員の皆様に感謝するとともに、読者の皆様のご多幸をお祈りいたします。

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>



熊本高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211



たゆまぬ挑戦、飛躍の高専！
2022 高専制度創設60周年

